

やまとそん 議会だより

88

令和5年9月・12月定例会・令和6年3月定例会 合併号

一步前進！ 手ごたえあり！



令和6年5月発行
編集：議会広報委員会
発行：大和村議会
電話 0997-57-2216
FAX 0997-57-2967

特集

奄美群島議員大会 大和村大会

- ▶大和村が抱える課題
- ▶奄美群島の15の目指すもの

第65回奄美群島市町村議員大会 大和村会場

主要地方道名瀬瀬戸内線の
大金久〜戸円間トンネルの早期実現について
(大和村・宇検村・瀬戸内町)提出

4月23日 令和6年度第65回奄美群島市町村議員大会が大和村体育館で盛大に開催されました。実に14年ぶりの大和村開催です。

この大会は奄美群島の議員が一堂に会し、それぞれの課題を国・県に提言する会です。

大和村は「大金久〜戸円間のトンネルの早期実現」を課題とし(写真左)総務建設委員長の前田清和議員が説明を行いました。

一日をかけて大会及び懇親会で、300名を超える来場者に、村議をはじめ、議員のご家族、村職員一丸となってお迎えいたしました。

来賓 24名

(衆議院議員) 三反園 訓 様、保岡 宏武 様
(県議会議員) 永井 章義 様、禧久 伸一郎 様、
松山 さおり 様、寿 はじめ 様、福司山 宣介 様、
元山 寿哉 様、本田 しずか 様、宇都 恵子 様
(鹿児島県知事) 塩田 康一 様
(大島支庁) 松藤 啓介 様
外、奄美群島全首長(代理を含む)



塩田県知事あいさつ



元陸上幕僚長 岩田 清文氏

大会内では、各区の議題発表及び県議からの回答、研修会では「台湾・日本有事に備え、戦争を抑止する」との題で元陸軍幕僚長岩田 清文氏による講演を聞きました。

手作りの茶菓子や、昼食・懇親会の汁物(豚汁・シシ汁)等全て、村産・島産にこだわって提供しました。

また、奄美温泉 大和ハナハナビーチリゾートを視察し、紹介しました。今大会で、大和村の現状を十分PR出来たのではないかと思います。



大和村公民館講座舞踊生徒フィーチャリング村長



龍郷町から応援メッセージの余興



次期開催地・伊仙町にバトンタッチ



万歳

決議 ~ 奄美群島の15の目指すもの ~

- 一、奄美群島成長戦略ビジョン2033の実現
- 一、ビジョン2033を着実に推進するための奄美群島振興交付金の充実
- 一、地理的・歴史的・文化的につながりの深い沖縄との交流・連携の強化
- 一、世界自然遺産地域を含む奄美群島国立公園の保護管理及び持続可能な利用の推進
- 一、情報通信ネットワークの整備・充実
- 一、交流人口、関係人口拡大に向けた施策の推進と更なる支援策の拡充
- 一、道路・港湾・空港など交通基盤の整備・充実
- 一、上下水道・公営住宅等住環境の整備・充実
- 一、さとうきび・園芸作物など農業基盤の整備・充実
- 一、重要病害虫、特殊病害虫、不快害虫等対策の充実・強化
- 一、本場奄美大島紬産業の活性化
- 一、災害対策推進と名瀬測候所の地方気象台格上げ
- 一、保健医療・社会福祉の充実・強化
- 一、地域を支える人材の確保・育成、教育の推進
- 一、独立行政法人奄美群島振興開発基金の充実・強化



議会の動き

令和5年【8月】

24日 議会運営委員会

【9月】

4日 第3回定例会開会

5日 決算審査特別委員会現地調査

7日 例月出納検査（監査委員）

12日 本会議（一般質問）

13日～14日 決算審査特別委員会

22日 最終本会議

27日 議員研修会（奄美市）

【10月】

3日 例月出納検査（監査委員）

15日 関西大和会総会（議長・兵庫県）

16日 令和5年度市町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式
（宮田議員・東京都）

22日 関東大和会総会（副議長・東京都）

23日 奄美温泉大和ハナハナビーチリゾート上棟式（議長）

31日 離島町村議会議長行政調査（議長・長島町）

【11月】

2日 大島本島南部議会連絡会（正副議長・奄美市）

7日 広報研修会（鹿児島市）

9日 奄美群島地区植樹祭（議長・与論町）
例月出納検査（監査委員）

9日～14日 定例監査（監査委員）

17日 議会運営委員会

20日～23日 所管事務調査（熊本県上天草市・薩摩川内市甑島）

28日～29日 離島振興町村議会議長全国大会
・町村議会議長全国大会（議長・東京都）

【12月】

4日 例月出納検査（監査委員）

4日～8日 第4回大和村議会定例会

13日 合同金婚式

令和6年【1月】

3日 例月出納検査（監査委員）

4日 二十歳の集い

6日 ゆずり葉の郷40周年記念祭（議長・奄美市）

7日 消防出初め式

9日 大島本島南部議会連絡会（正副議長）

16日 公明党ティダネシア委員会（奄美市）

24日 知事との意見交換会・議員研修会（鹿児島市）

【2月】

1日 例月出納検査（監査委員）

6日 第42回大島本島南部町村議会議員大会（防災センター）

11日 ほこらしや奄美音楽祭（議長・奄美市）

14日 NPOあまみ空き家ラボとの連携協定式

19日 議会運営委員会

20日 鹿児島県町村議会議長会定期総会（議長・鹿児島市）

25日 公民館講座合同閉講式（正副議長）

27日 各種会議（議長・奄美市）

【3月】

5日～21日 第1回大和村議会定例会

10日 関西奄美会（兵庫県尼崎市・議長）

12日 大和中学校卒業式

22日 各小学校卒業式

26日 奄美群島議長・局長合同会（奄美市・議長）

27日 大島本島南部議会監査

【4月】

5日 例月出納検査（監査委員）

8日 小学校・中学校入学式
大島本島南部議会役員会（瀬戸内町・正副議長）

11日 奄美温泉大和ハナハナビーチリゾート竣工披露式

23日 第65回奄美群島市町村議会議員大会・研修会

24日 奄美群島活性化セミナー（奄美市・議長）

26日 鹿児島県市町村連携会議（鹿児島市・議長）

目次

- 02 特集／議員大会
- 04 議会の動き
- 06 一般質問
- 20 予算審査特別委員会
- 24 定例会
- 27 決算審査特別委員会
- 30 活動報告
- 32 編集後記

定例会、YouTube配信しています
生配信も、過去分も見ることができます



議会を 見て みよう

傍聴に来てください。
定例会は、年4回あります
（3・6・9・12月）

みなさまの 声をお聞かせください

年4回発行している議会だよりについて、ご意見ご感想をお聞かせください

議員になろう

住みよい暮らしのために声をあげてみませんか
若い考え、女性目線などたくさんの感性を必要としています

おしらせ



市田 実孝 議員

令和6年 3月

高齢者の福祉計画 について

問 大和村は福祉計画においては、今後住み慣れた地域での介護のあり方で集落長屋構想も含んだ、地域や利用者から信頼される施設を目指しているかとあるが構想はどのような状況か

答 大棚集落への「集落長屋整備基本計画」立案がなされて大棚住民協議会と共有を図りながらハード整備のための適し

安全対策を実施している。集落から要望等があれば実施して行きたい。

問 集落を一つの公園と捉え、ベンチや水飲み場・休憩所を作り皆が集える場所ができないか

答 各集落は、敷地が限られており用地の確保が困難。まずは既存施設や地域支えあいグループの活動施設等の利活用の促進を図りたい。

問 公民館前のミニ噴水式の水道が、水が出ず長年使えなくなっているが改修できないか

答 水道管の錆びによる詰まりは、清掃を行い改修した。

問 集落内に出没するハブ対策はどのようにしているか

答 集落でハブに咬まれた情報等確認されており、広報大和

た場所の選定を進めている。

問 各集落に、在宅で車椅子利用者は何人か

答 障害福祉サービス給付における車椅子受給者は3名、介護サービス給付における受給者は14名、日常的外出時における利用者は24名、集落別では0名〜6名。

問 在宅の車椅子利用者の病院や買い物への移動手段は、どのような支援があるか

答 社会福祉協議会が行っている福祉有償運送事業を年間20名が利用、その中で5名が車椅子利用者。全体としてご家族の車を利用している。

問 在宅介護者・家族の購入する福祉車両の支援は検討できないか

ラジオ便で注意情報を流したり、学校ではPTAにおいてハブ棒の作成、集落においては自主的にハブ棒を設置するなど、地域の協力もいただきながら安全対策を実施している。

単身世帯増加による 身寄り問題

問 総務省は、単身世帯の占める割合は全世帯の4割になり、身寄りのない孤立化する高齢者はさらに増加すると予想している。本村の取り組みは

答 成年後見制度の相談窓口を設置しており、相談への対応や制度の普及啓発活動を行っている。また、重層的支援体制整備事業で関係者間の連携体制を図っている。

問 単身世帯は、現在村内に何件あるのか

答 第7期障害者福祉計画において、福祉車両購入支援の要望についての意見があり、車椅子利用者の外出機会を増やすことは、交流機会・生活の質の向上・自立支援につながるとして現在検討を行っている。

問 村民の介護予防で、村内温泉施設を利用するとあるが具体的にどのような活用を検討しているのか

答 村民の健康増進介護予防の観点から継続的に利用していただけるよう年間にわたる利用料助成や集落から施設への移動手段を行えるよう検討している。

集落訪問者のための 駐車場の整備

問 村内集落は道路が狭い状況にあり、路上駐車されると対向車は接触等の通行に不安な

答 令和5年10月現在、285世帯中65歳以上の単身は157世帯。

問 身寄りのない世帯は、村内に何件か

答 身寄りのない世帯は現在いませんが、家族や親族が遠方で日常的支援が得られない世帯・家族や親族と疎遠で支援が得られない世帯が数件ある。

問 若年層の単身世帯が社会から孤立させないための支援は

答 令和5年10月現在、64歳以下単身世帯128世帯。障害者就業・生活支援センター事業や就労支援事業、また村が独自に行っている障害者等行き場づくり事業の参加を通じて社会孤立防止に努めていく。

問 結婚支援対策は行っているか

状況が多々あるが、集落道路の拡張計画や集落訪問者用の駐車場の整備は検討できないか

答 集落内は幅員が狭く車両の離合が困難な箇所が多く駐車場が少ないことから、道路の拡張・駐車場の整備に、集落において地権者への協力依頼をいただきながら事業の導入を検討していきたい。

令和5年 12月

集落がより住みやすい 環境を目指し

問 集落内を外周する道路を高齢者が気楽に散歩や運動できる道に改修できないか

答 名音や大棚地区で、生活道路対策エリア事業で路肩部分の舗装や側溝の入れ替え等、

答 国も今年から全国的に結婚生活支援事業を実施している。村独自で大和結婚応援助成金を創設して未婚率の軽減を図っていききたい。

思勝港の利用計画

問 砕石業者以外の利用状況は

答 採石業者の他、砂の物揚げ場・工用の残土置き場・大金久高潮対策工事のブロック作成一時保管ヤード・工事用係留などで利用されている。

問 名瀬港の準ハブ港として拡張整備し、利用度を高めるべく県や国に要望できないか

答 大和港思勝地区は最大係留施設が100m程度であり、拡張については船舶の接岸が困難。拡張は難しい。今後の状況を見ながら検討したい。

令和5年 9月

教育現場における 環境整備について

問 各学校の施設・通学路などは定期的に点検し、環境改善すべき問題等要望等は迅速に対応はなされているのか

答 学校施設の環境改善箇所について定期的に点検し問題や要望については出来るだけ当初予算の範囲内で迅速に対応している。各学校の校舎や体育館の施設本体の管理は、令和2年に大和村学校長寿命化計画を作成し、今後は順次国の交付金等を活用し改修・環境配慮・ニーズの変化にも対応しつつ良好に使い続けていけるよう管理に努めている。

問 大和校校庭前の側溝は長年口が開いて、雨天時など危険だと察するが改善計画はないか

答 側溝については、雨天時の安全対策が必要であることは認識しており、民間との用地交渉を粘り強くしていきたいながら用地取得が可能であると判断されれば改善計画を講じていきたい。

問 体育館横のフェンスは錆びて、一部折れて傾いたまま放置されているが早急に対応する必要はないか

答 給食センター側のフェンスの支柱3本、保育所側の支柱2本が錆びて腐食しているのを確認したので早急に修繕を行い対応する。

大和村起業創業 ステップアップ 助成事業について

問 申し込み期間が短く、申し込み間に合わなかった方がいたと聞いているが、受付期間を今後延ばす必要はないか

答 他の自治体の同様の助成事業の受付期間は、20日から40日であり本村の31日間は適当かと思われる。今年、初年度でもあり村民への認知度が十分に浸透してなかったと思われるので、今後は村の広報紙やホームページ等で浸透を図っていく。

問 助成事業申し込みの集落別件数・業種・男女比率・年齢層はどのようになっているか

答 申請事業の集落別では、国直・湯湾釜・津名久・名音・

今里の各1件の計5件。種別では、観光業2件・美容業1件・養鶏業1件・製造業1件で、男性4名・女性1名であり、年齢層は、30代2名・40代3名となっています。

問 助成事業の対象を、小業者が新たな地域内雇用・新卒者採用など地域内雇用促進のために雇用対策助成金を含んだ助成支援に拡充検討できないか

答 初年度でもあり事業の実績・成果も出ていないため、助成内容を検討する段階ではなく、本事業はあくまで起業・創業から自立化にむけた支援及び既存事業者の事業拡充に伴う支援である。事業実績を積み上げ経営基盤を作り、民間金融機関や商工会等を活用しながら経営強化に努めていたきたい。



前田 清和 議員

令和6年 3月

商工業振興の取組みは

問 村内の商店は、物価高騰による仕入の高騰、またエネルギー高騰による光熱費の上昇など、経営を維持するだけでも大変厳しい状況にあります。そこで、村内の商店を今後維持するためにも、光熱費の助成制度等検討していただけないか

答 現在まで6回の地域商品券を発行しており、総利用額の44.4%が集落商店を利用され、

経営支援策として大きな効果をもたらしていると考えています。

買物難民（買物弱者）への対策は

問 商店のない集落への移動販売を民間企業との連携等検討するべきでは

答 移動販売の実施は、既存商店の客を奪うことになり、売上に影響すると考えられる。また、合同会社ひらとみが発動販売を行うことも民間企業圧迫に繋がると考えられる。今後は老人クラブの意見を聞きながら支援の在り方を検討していきたい。

児童・生徒の確保を

問 親子留学制度が現在休止しておりますが、今後の再開の見込みは

答 親子留学制度を実施する

にあたっては、受け入れる集落で実行委員会を設置するなど集落が主体となって地域全体で受け入れ体制を構築する必要があります。集落から親子留学を受け入れたい要望がありましたら、当局でも協力していきたい。

問 里親制度の活用を、もっと利用するべきでは。見直す余地が必要では

答 里親留学制度の対象者は、里親の孫、親戚、知人等の子どもとなっており、現在は児童生徒はいない状況です。今後は、本土で開催される郷友会総会など、村内出身者が集まる場で周知広報を図ってまいります。

令和5年 12月

令和6年度 予算編成の基本方針は

問 物価高騰対策が求められている中、来年度に向けての伊集院村政独自の支援策を検討していただけないか

答 村民一人あたり、一万円の和和村地域商品券を、これまでに5回発行していますが、村民の生活支援、村内事業者支援も併せて経済効果が見込まれていると考えています。今後さらに第6弾の和和村地域商品券を発行する計画です。今後も村民が安心して生活を送れるよう、支援策の展開を図ってまいります。

問 集落長屋構想の進捗状況は現在のようになっているのか。来年度から事業に取り組むのか

答 行政、外部専門家で構成された在り方検討会において、約5年間検討を重ね計画承認を受け進めてきています。現在、大和集落内への整備基本計画の立案がされており、ハード整備として、令和6年度に県基盤整備事業への申請を予定、人材確保においても、地域おこし協力隊の募集を行い、令和8年度の開設を目指したいと考えています。

問 令和6年4月から開始の公営企業会計への移行について、準備は万全なのか

答 昨年5月から会計年度任用職員を配置しまして、作業を行っております。また、コンサルティング事業所との打ち合

大和中学校の部活動に視点を置いた生徒・指導員の確保

問 村内唯一の中学校でさえ小規模校であり、今後の学校維持においても、生徒の確保は必要不可欠。例えばスポーツ等の魅力ある活動を通して、村外からの受け入れを検討していただけないか

答 原則として保護者が居住する校区の学校に通学することとされている。公立の学校で特定の教育活動（スポーツ、部活動）を売り物にしての勧誘は難しいと考える。大和村内の小中学校においては、各校区、集落の特色を生かした教育活動を推進しており、これらの取組を充実させていくことで、各学校の取組に関心を持ち、この学校に通わせたい

わせ、他自治体の事務研修等を実施しています。令和6年4月の開始が決まっているため、住民税務課全体で万全を期して準備を進めていきたいと思えます。

大和診療所への送迎増やせるのか

問 現在のどのような形式で週2回運行をされているのか。今後、見直す必要もあるのでは

答 送迎バスの利用状況については、平均して一回の利用客は5人から6人となっております。また、多い日には10名以上の利用もあります。送迎運行を実施していない日につきましては、昨年7月から運行しています、移動支援バス（きびきび号）を利用している状況で、現在のところ要望等ありませんので現状のままでいいのかと考えます。今後、利用者

という思いを持たせることが、大和村内の小中学校の維持、集落、校区の活性化につながっていくと考える。つまり、インターン、Uターン、受け入れ策が現実的であると考えられます。

問 教職員の負担軽減において、全国的にもクラブ活動指導が見直されています。本村においても今後どのような対策をお考えなのか

答 令和4年度12月に大和村地域部活動推進連絡協議会を発足させ、各競技団体と部活動顧問が連携を取り、夏期休業以降の週休日は各競技団体による指導に移行することで話し合いを進めています。教員の働き方改革はもちろん、指導者による専門的な技術指導により、勝ちたい、楽しみたいといった生徒の部活動におけるニーズに応じた活動ができることを期待しております。

のご意見等を伺いながら、見直し等検討していきたいと思えます。

令和5年 9月

地域おこし協力隊で集落に良い変化を

問 他の町村と比較しても、本村は地域おこし協力隊の採用が少ないと思うが、本年度今後採用・雇用はあるか

答 集落長屋構想に従事していただく協力隊員を今年度募集する予定。令和6年4月からの採用を計画している。

問 採用・雇用があるとすれば、どのような人材配置をお考えなのか

答 看護師、介護士等の有資格者を優先する。無資格者に

においても集落長屋構想に関心を持ち、介護初任者研修受講意欲のある方であれば応募可能とする

問 村内集落活性化に向けて、集落への配置もいいと思うが、検討していただけないか

答 協力隊の配置を求める集落は、まず、どのような活動、人材を求めるのかを明確にした上で、村へご相談いただきました。





重信 安男 議員

令和5年 12月

安全で豊かな環境とは

問 空き家対策は、どう進捗しているのか

答 現在160件の空き家が存在し、そのうち廃屋が64件。廃屋に関しては、令和4年度に大和村廃屋等対策助成金制度を創設し、村内に存在する廃屋を防災及び防犯上の観点から、取り壊そうとする個人に解体撤去に係る費用の一部を助成

すること、廃屋の解体を促進し、安心安全な生活環境の確保を図っている。
空き家に関しても、比較的状态の良い空き家の所有者から村に売却または賃借したいとの申し出があった物件に関しましては、村営住宅として活用することで、良好な住生活環境を提供し、定住促進へその効果が発揮されている。

問 最近増えているネズミ等によるハブ対策は行っているのか

答 環境省の見解によりまして、昨年と一昨年は山間部では木の木の豊作によりネズミが増加し、今年は山間部での木の実が減ったとのことで、食料を求めて集落周辺に下りてきたのではないかと推測されている。ネズミ対策につきましては、各世帯によりまして独自で対策が取られていると認識。ネズミ対策については村民への周知

を図っていききたい。
(住民税務課長) ネズミの場合は食料を求めて人の家に侵入し、そこでいろいろ巣を作ったりして、またそれを追っかけてハブが行くということもありますので、やはり空き家とか、そういった環境をなるべくなくすことが集落内での環境は良くなる。ネズミの駆除は基本的に各世帯で行っている。ネズミの捕獲かごや、粘着シートなどを使得、捕まえているものだとの認識。今後、ネズミの集落内での異常発生とか、超音波のネズミ駆除機などの情報など広報できれば。

問 イノシシによる人的被害が予想されるが、その対策は

答 リュウキュウイノシシは、本来臆病で用心深く、人前では身を隠す動物であるため、一般の方については人的被害の可能性は低いと考えており、その

対策についても計画はしていない。



藏 正 議員

令和6年 3月

「果樹の村」ってどんな村？

問 誰もがイメージできるような具体的な「果樹の村構想」を練るべきではないか。
・ すももロードの整備とか
・ 観光体験農園の整備とか
・ お土産とか

答 すももロードを整備する計画はない。
毛陣地区の実証農園についてはこれまで管理不足であったが、今後は計画的な管理に努める。

土産品については今後企業とタイアップしながら進めていく。

問 施政方針に「果樹の村再生には、安定した生産量の確保が必須」とあるが、具体的な構想を立てるべきではないか

答 農地の把握については農地利用状況調査を行いある程度の把握はされている。貸し手と借り手のマッチングについて中間管理機構や関係業者と連携し推進していく。

問 お歳暮時期の贈答品として需要が高く、本村平場地区に栽培条件が適している「津之輝」を本村の新たな奨励品種として普及促進してはどうか

答 すでに重点品目5品種として奨励しているが、栽培が難しい面もあり、大々的な奨励には躊躇している。

温泉施設オープン！ 村民との関わりや還元策は

問 村民への具体的な関わりと還元策はどのようなものがあるのか

答 温泉の効能を活かした健康増進を推進することを目的に、温泉利用促進を図り、1回500円で利用できるよう助成する。また、施設で提供する食事メニューについても出来るだけ地場産の材料を利用してもらう、施設側が考えるメニューの食材を農家さんに作ってもらうような連携も図っていく。

問 企業と地元生産者がタイアップした商品化計画はないのか

答 施設内に物販ブースを計画しており、5つの業者から20品目の販売が決まっている。今後

の商品開発についてもタイアップした形で取り組んでいく。

問 JAや一流シェフと共同で取り組んでいる「ディスカバー奄美」の手ごたえは

答 島の食材及びタンカンの魅力を発信し、認知度向上、販路拡大を目的にJAと連携し、東京日本橋の有名デパートの高級レストランで、企業人や出身者を招いて、一流シェフによる奄美の食材を活用したイタリア料理の提供や生産者の思い、大和村の魅力を発信してきた。無限の可能性との好評を得て、本事業が本村特産品の販路拡大、高付加価値化に繋がっていくと期待している。今後も継続していきたい。

雨の日も子どもと遊べる公園を

問 本村での定住を希望する子育て世代からの要望であるが、今後の子ども・子育て・定住促進の観点からも他地域にない雨天でも遊べる公園の整備は図れないか

答 晴耕雨読的な生活が心豊かな子供の健全育成に寄与すると考えている。まずは、既存の公園や室内施設の有効活用を推進して行きたい。

アの増員、保育スペース及び運動や遊びのフィールドの確保など、現状の課題解消に向けた協議はされているのか

答 令和6年度に委員会の中で計画策定をする。保護者からのアンケートの結果も生かせるような計画策定を進めていく。運動や遊びのフィールド等の確保についても、認定こども園を念頭におき具体的な協議を進める。

島外で手術や治療を受けざるを得なくなった家族への支援策の創設に向けて

問 難病指定を受け島外で手術や治療を受ける方の家族については、国の支援が限定的で後払いになっているため、複数回に及ぶ交通費の工面等で困難な状況に陥るが、一時金の交付等、村単独の支援策を講じるべきではないか

答 村単独事業にて島外受診旅費助成事業を実施。島外での医療を必要とする方及びその付き添いが必要な方の家族に対して、年間最大6回の交通費及びそれに伴う宿泊費の一部助成を行っているもの。難病指定を受けている方についても、要件を満たせば対象となる。年齢や障害程度等に制限は設けておらず、今年度更に利用助成拡大も行っている。

村内豊年祭開催時の送迎バス運行について

問 十五夜及びクガツクンチの豊年祭開催時に、名瀬郷友会の送迎にバスを貸し切り利用していたが、利用者が減少し、集落単位でバスを借りることが困難になっている。本村のバスを利用した郷友会送迎の対策はとれないか

答 豊年祭開催時に郷友会向けの送迎車を運行している集落は、大棚、大金久、戸円、名音の4集落。利用者数に合わせてマイクロバスのほか、10人乗りのジャンボタクシーなどで送迎を行っているとのこと。運行経費については、今年度より人口減少及び少子高齢化の影響による集落運営財源の減少を補い、集落運営の安定化を図ることを目的に創設され、志戸勘集落10万円、その他の

令和5年 12月

第3期子ども子育て支援事業計画について

問 策定計画において、責任者（園長）の配置や、保育スタッフ

集落へ20万円の支援金を助成している。大和村集落支援助成金の活用を合わせて各集落でご検討していただきたい。

令和5年 9月

台風時の波対策について

問 湯湾釜選果場周辺の波対策について

答 浸食の要因を調査中。沖合の海流変化も考えられるため護岸工事と並行して消波ブロックの設置等についても集落の意見を聞きながら計画していきます。



消波ブロック設置もあるかもよ！

問 国直海岸のウミガメ対策と越波対策を両立させる具体策は

答 海岸線の堤防上端から1.5メートル下を基準に浜砂の押し戻しを行っています。

ウミガメとの共生
越波対策には
1.5メートルの壁



公園の管理について

問 公園の管理は農道の管理とは違っていつもキレイにしておくべきでは

答 村道管理スタッフの人員不足でおろそかになってしまった。公園管理については別途管理計画を見直す予定です。

問 水辺の広場の遊歩道も草刈りがされていないが、管理計画は妥当か

答 公園のパトロールを強化し、指定管理者とも協議しながら対応を図っている。

嶺山公園、
せつかく来たのにガツカリ
帰ろう・・・
水辺の広場、
スタッフ不足じゃない？
草ぼうぼうよ！



問 グラウンド・ゴルフ場の芝の状態をいつも同じ状態に管理してほしいのですが

答 作業の労力及び作業計画並びにコースの利用状況を把握し管理者と協議していく。



ベストコンディションで
技術力向上！





勝山 浩平 議員

令和6年 3月

幼児教育の導入を

問 幼児期に質の高い幼児教育が提供されることは極めて重要である。質の高い教育を提供することは、移住定住を促し人口減少対策にもつながるものと考えますが、幼児期からの教育の充実を図るべきではないか

答 質の高い幼児教育や保育環境は大変重要性が高く、移住者の促進につながりうる魅力の一つである。今後、認定こども園の整備を検討する中で、幼児教育の要

素も今以上に工夫した形で取り入れ、理念、環境、人的資源、保護者の参画なども含めた魅力ある幼児教育の場を作っていくよう努めたい。

第3期子ども・子育て支援計画の策定を進める中で幼児教育という視点も踏まえて協議していきたい。今回のアンケートで習いごと助成についても盛り込んでいるので、その結果を踏まえて検討していきたい。厳しい経済事情にある家庭への学用品購入の助成なども検討していきたい。

経済情勢を踏まえ

奨学金の拡充を

問 奨学資金制度の条例が制定された昭和61年当時の国立大学の授業料と現在を比較すると2倍以上も高騰している。授業料や入学金の値上げや物価高騰など、経済情勢の

答 大島支庁へ電話で確認したが質問等の行き違いがあり指名停止はないと誤認した。誤った回答は申し訳ない。

問 入札に参加できない期間は県の確認を見て判断」と答弁しているが県の処分前になぜ指名停止を解除したのか

答 当該業者の住所誤りが判明し県への住所変更手続き後、村へ指名願い変更届出が提出されるまでの間、指名停止をした。指名推薦委員会が判断し村長が決定した。

問 営業所が無いために経営業務管理責任者や専任技術者が常勤できなかったことについて県への確認は

答 当該業者から県へ住所変更の届出が提出されているので、村としては営業所と経営業務管理責任者等は配置されていると確認している。

変化を考慮し奨学資金の拡充を図るべきではないか

答 現在のところ今の制度で十分だと思っております。大学の授業料が2倍程度になっていることは承知している。他の奨学資金も併用して利用してほしい。

最近では授業料の増額や物価高騰もあるので経済情勢を踏まえ周りの状況を見ながら奨学金を増額について検討したい。

不足する住宅問題の対策強化を

問 子供の誕生や成長に伴い、家が手狭になり、住み替えを望む子育て世帯や本村に魅了された移住希望者が増えていくが、残念ながら入居できる住宅が不足している状態が続いている。今後の各集落の住宅建設計画はどのようなものか

答 村への居住希望者が増えて

問 村の調査に当該業者は志戸勘地区内に移動と答え、県への変更届では志戸勘から名瀬に移動とあることについて「提出書類を再調査して確認したい」と答弁しているが

答 村は同じ集落内に事務所があり奄美市に一部機能があつたと認識する。県への確認では変更届出書の提出の際、事務の一部を奄美市で行っており奄美市に事務所を移した年月日を記載し提出させたとのこと。確認を怠っておりお詫びする。再調査は、これまでについて調査できない部分もある。県は名瀬に、本村は志戸勘に営業所があるとの認識について、県に再度確認したい。

問 県提出書類にある株主（故人や株主の覚えがない方を記載）の県への確認については

答 申請件数が多いこと等から全内容を確認していないということ。

いることは認識している。令和6年度から奄振交付金を活用し空き家改修を3件計画する。

起債事業を活用した新築1件も進め、空き家対策にも取り組む。さらにサブリース方式による住居の確保と空き家対策を進め、民間を活用した住居の確保を推進したい。令和6年度以降は、現段階で集落から要望のある津名久、戸円、名音、今里集落を候補に村有地の確保状況の協議を進める。

7年度以降、どの集落に何戸建設したいという計画策定に向けての検討を進める。政策住宅は、大棚地区の埋立てをメインとして考え、7年度以降の計画に盛り込みたい。

問 違法行為を確認した場合の公務員の告発の義務について「県の判断を待ち手続について確認」と答弁しているが

答 県への連絡により指示処分と指名停止措置が下されたと判断する。

大和の園職員の処遇改善を求めて

問 以前の質疑に「令和6年度から夜勤手当の拡充を行う」と答弁しているが

答 支給を検討中で結果的に増額の見込み。

問 独自で更なる処遇改善を図る考えは

答 令和6年度の介護報酬改定状況などを見極めながら継続して協議する。

令和5年 12月

学習塾など子ども達の習い事費用の助成金制度の創設を！

問 以前の質問に「学習支援について再度検討」と答弁しているが

答 習い事への助成は実施しない。習い事への考え方に違いがあり等しく必要性を有しない習い事への助成は公平性の観点から困難。子ども子育て支援計画の策定でアンケート調査を行う。

建設業法違反の疑いに対するこれまでの答弁の確認

問 指名停止だった業者が入っていることへの指摘に「指名停止はないと県に確認した」と答弁しているが

令和5年 9月

国立公園ヒエン浜沖での海砂採取中止を求めて

問 今年度、県に提出した、村の意見を述べるための副申書の内容を具体的に示していただきたい

答 大和支所正組合員有志や村議会から中止を求める要望書等が村に提出されているので、引き続き採取海域の地形調査や海砂採取による環境への影響調査など要望した。

(産業振興課長) 以前、新たな採取地の選定調査を県に要望した事について、県から意見はない。県に確認した結果を漁業者に伝える事は当然なので情報共有したい。県に地元の見解を取り入れた形での調査ができないか要望したい。関係機関に採取量削減と採取

地分散化を継続的に要望するとの以前の答弁について、R4年度は行っていない。来年度以降要望検討。

問 前回の質問に対し、「採取は漁民の考えにかかっているの、我々は意見を聞くことを再度約束したい」と答弁しているが、そのような機会を設けなかったのはなぜか

答 今年3月に、予算に係る水産関係事業説明会及び意見交換会と題し行った。海砂採取について、多くの漁業者の見解が聞けるような形で検討したい。

建設業法違反の疑いに対する県の監督処分

問 昨年の第4回議会定例会の一般質問に対して、「業者において建設業許可証にある会社所在地を確認できない。県の判断を待ちたい」と答弁して

いるが、県の監督処分はどのようなになっているのか

答 9月5日付けで指示処分改善再発防止とあった。所在地が適正に改善されるまで村独自で昨年12月27日から指名停止処分を行い、職員の事務所確認後、4月25日付けで指名停止を解除した。専任技術者等が営業所に常勤できなかった事について、情報を得ながらやっていく。適正な工事には技術者が必須なので配置について定期的に確認しながら指導していく。(建設課長) 今後の処分について、村が関係するものではない。県の処分が最後かどうかは分からない。村の聞き取り調査に対して、業者は志戸勘地区内に移動したと答えているが、県に提出した変更届では志戸勘から名瀬に変更している事について、指名業者としての適否についての確認は必要だ。定期的に確認しながら今後対応し

令和5年 9月

避難所について

問 避難所の職員等の配置は各集落公民館と学校施設等26カ所を避難所に指定している。各集落公民館へは消防団員が、各学校の避難所へは職員が配置される。

問 非常食を誰に要求すればいいのか

答 避難所運営にあたる消防団員及び職員が対応している。避難をする際には各自で可能な限り一食程度でも持参するよう、周知を行っている。

台風後の電話の故障対応

問 台風6号通過後、電話が故障し、困っている村民がいる。電話会社へ問い合わせをしても音声ガイダンスは、お年寄りに難しい。役場または大島郡市町村要望として、相談窓口

ていく。

県への提出書類による再調査について、書類を調査し確認したい。県への提出書類から株主の確認について、県と話をしていきたい。

オスプレイなど米軍機の住宅地上空での飛行禁止を求めて

問 高度制限の緩和により、危険性はさらに高まっているが、再度、住宅地上空での飛行禁止を求めていくべきではないか

答 奄美大島各自治体への情報収集とあわせ、県とも情報の共有と連携を図りながら、改めて関係部署への働き掛けの是非について検討していきたい。

ないしガイダンス補助ができる機能をもたせられないか

答 役場が電話会社の代行を担うことは難しい。音声ガイダンスの補助は、まずは身内の方や近くの民生委員等に相談し、代理で対応していただきたい。それでも困難な場合には役場での対応を検討していく。

公有地の借地営業の実態

問 現在村の土地を2世帯の村民が借りている。何年契約か

答 村の観光振興に寄与するものとして、大和村公有財産規則に基づき一企業と5年間の借地契約を結んでいる。

問 本人たちが希望すれば売却とかは出来るのか

答 一個人への売買ではなく、村の振興発展に繋がるものと判断するうえで該当する企業、法人、団体と十分な協議を進める中で検討を行い、判断をすることになる。



中井 文忠 議員

令和6年 3月

子どもの医療費窓口支払い、負担ゼロへ

問 子どもの医療費が無料化していると言いますが、課税世帯は一旦窓口支払いをしたあと、村からの還付される状況と、村からの還付される状況、課税、非課税世帯に関係なく、子どもの医療費の窓口負担をゼロにできないか

答 現物支給ができるよう、システム改修の準備を進めている。対象年齢が自治体で異なると医療機関窓口で混乱が生じるため、調整を図っていく必要がある。

集落長屋構想が進む中本村の介護人材不足が予測されるとの声あり

問 介護スタッフの確保はどのようにするのか

答 全国で既に介護人材不足が現実になっている中、本村の集落長屋構想は、大和の園・社会福祉協議会を新たなサービス体系へと変化させるもの。新たな機関として大勢の人材を募集するものではなく、現在の従事者を中心に計画されている。

問 計画地が急傾斜地にかかっているが対策はあるのか

答 大棚の候補地は福祉関係施設建築であり特に厳しい条件が付されることが分かった。条件をクリアできる事業等を探しながら別の場所の選定も進んでいる。安全配所、地域住民の交流拠点になるよう慎重に進めている。

新年度予算審査

新年度予算は、予算審査特別委員会を設置し、一般会計及び特別会計（6件）、公営企業会計（2件）の審査を行いました。審査の内容は、現地調査及び担当課への質疑にて、次のように行いました。

その結果、どの会計においても討論はなく、採決の結果、全会計ともに、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

この結果は、委員長報告及び意見書として、当局に提出しました。

審査日程

- ・ 3月6日 現地調査
- ・ 3月14、15日 審査

決算審査特別委員会

- 委員長 前田 清和
- 副委員長 市田 実孝

子ども子育て支援計画の内容

（保健福祉課）構成員は、学識経験者、小学生・未就学児の保護者、担当職員で、特に学識経験者も教育に重きを置く委員と考えている。

土曜保育、延長保育等は、利用のしやすいように改善を

（保健福祉課）へき地保育所は、元々土曜日は開園ではなく、子どもを預けるためには、その理由が必要となる。理由があれば対応しており、保育所は必要性に応じて開園している。

地場産野菜・オーガニック野菜をふんだんに使った学校給食を

（教育委員会）地場産野菜は取り入れているが、オーガニック野菜は仕入れていない。今後、産業振興課と連携しながら、無農薬、有機栽培等取り入れていけるよう進めたい。

現地調査

思勝1号線ガードレール設置



錆びて柱が宙に浮いています

大棚小学校排水対策 遊具設置



校庭の地盤改良を行い、遊具も新しくします

戸円消防車庫 建て替え



戸円の消防車庫が古く爆裂がみられます

生活道路対策エリア（名音）、 定住促進住宅

※生活道路対策エリアは国直地区と名音地区の予算がついています。



集落内の暗渠を大きくし、水はけを良くします

特別会計 ・公営企業会計

訪問介護の事業所、利用者の現状について

（介護保険特別会計）
／保健福祉課

事業所は大和村社会福祉協議会であるが、利用希望で奄美市の事業者を希望する方は利用者の希望どおりとしている。利用人数は25名。

集落長屋構想が進むと大和の園は規模縮小となるのか

（大和の園特別会計）

／大和の園

現在定員割れをしている。実情に合った介護サービスに変えていく。

一般会計

主な質問



ジビエ加工品の開発の状況は

（産業振興課）食肉処理施設の場合は大棚加工所を考えているが全事業は確定していない。基準が厳しいため今後先進地視察や県等にも相談しながら進めていきたい。

水産物の商品開発の状況は

（産業振興課）加工専門家、大島支庁、担当課と協議を進めながら、地元で採れるものなどを活用して商品化していきたい。

西部地区の集落排水処理施設について

（集落排水事業会計）
／住民税務課

排水処理施設の老朽化により修繕費、管理費の増額が見込まれる。現在の処理場1カ所より、各集落に大型浄化槽を設置することで経費削減にもつながる。

避難場所（山）に簡易トイレ等の設置を要望

（総務課）各集落区長とも話し合いをしながら検討したい。



リウウキウチク育成場の管理体制に疑問

（教育委員会）今後、計画的管理が出来るよう体制づくりを推進したい。

自主防災組織の確立を

（総務課）令和5年に個別避難計画を策定することが出来たが、個別避難には家族の同意も必要になるため、行政主導では出来ない部分もある。今後は自主防災組織、保健福祉課、ヘルパーなどを交えた避難計画を作成していきたい。

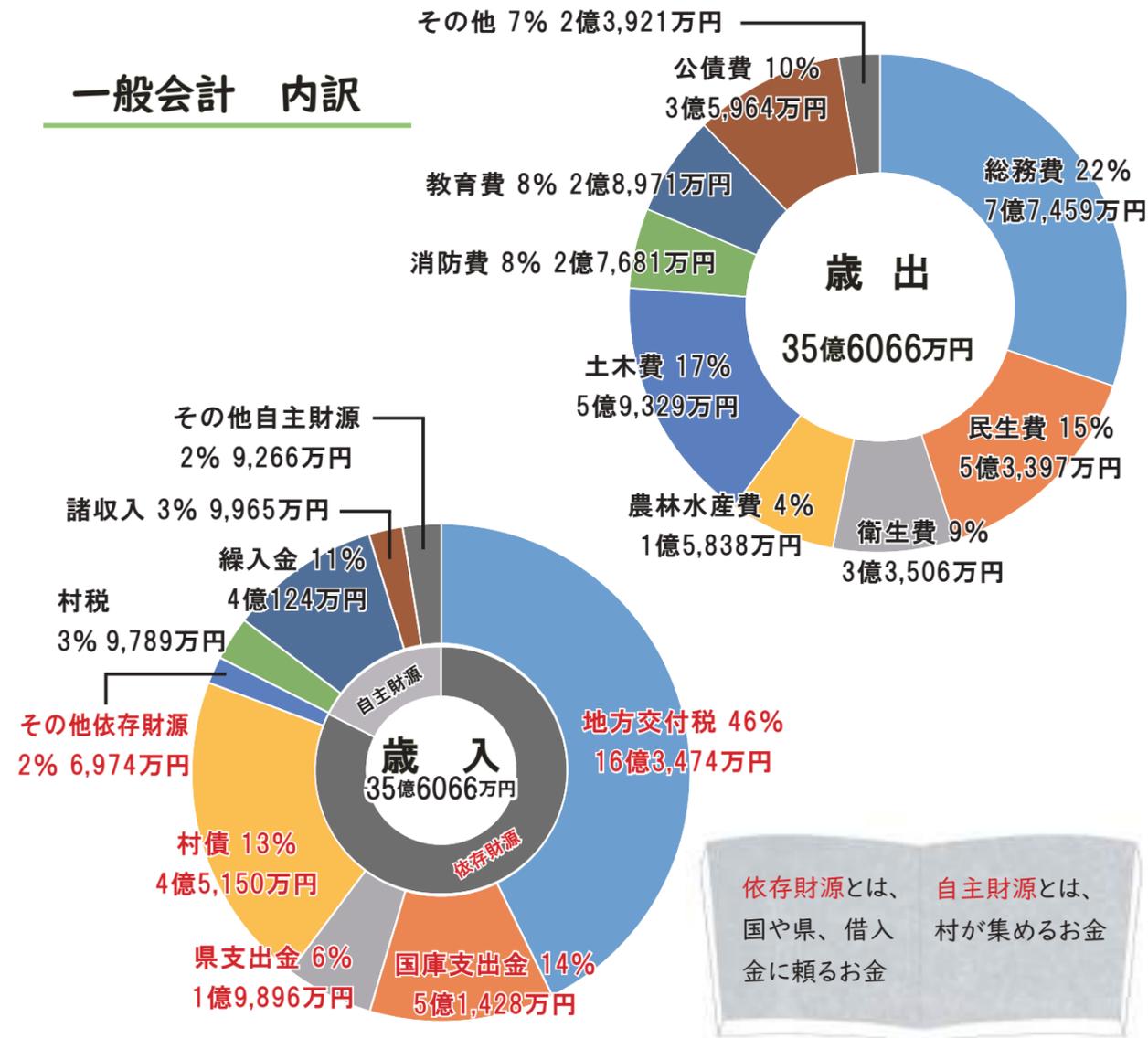


令和6年度当初予算編成

会計	事業	予算額	前年度比
一般会計		35億6,066万4千円	△3,506万1千円
特別会計	国民健康保険	2億1,437万4千円	412万1千円
	大和診療所	9,527万3千円	675万5千円
	介護保険	2億4,934万9千円	△2,705万3千円
	大和の園	2億2,281万9千円	3,105万7千円
	後期高齢者医療	3,830万7千円	384万0千円
公営企業会計	簡易水道事業	9,181万7千円	1,184万2千円
	集落排水事業	2億4,834万1千円	2,235万2千円
合計		46億8,646万7千円	1,785万3千円

※簡易水道事業と集落排水事業は、令和5年度まで特別会計でしたが、令和6年度から公営企業会計に変わりました。表中この2つの事業の当初予算額は支出の合計を掲載しています。

一般会計 内訳



令和6年度予算審査意見書

- 大和浜集落内の道路の沈下及び集落排水のマンホール内に砂利等の異物が入っていることの対策を図っていただきたい。
- 名音漁港再整備事業で整備する施設等については利用規程を設け、適正な利用となるよう努めていただきたい。
- 認定こども園の策定委員会では、施設のスペースや幼児教育に精通した人材を登用していただきたい。
- まほろば館における地場産品拡大を図っていただきたい。
- コーヒー栽培管理を徹底して成功につなげるようにしていただきたい。
- ジビエ加工品の研修を行い、加工施設の整備を進めていただきたい。
- アマミノクロウサギ飼育展示施設については、人材確保に努める他、環境省との連携を強化していただきたい。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出致します。

令和6年3月21日

大和村長 伊集院 幼 殿

大和村議会議長 奥田 忠廣

令和6年度予算審査意見書の提出
 令和6年度予算審査の結果、村議会としての意見を集約し、次のとおり議長から提出された。

令和5年第4回定例会（12月議会） 主な内容

第4回定例会は12月4日から12月8日までの日程で開かれ、一般会計・各特別会計の補正予算や条例改正などの専決処分が10件、補正予算8件、条例改正6件、同意案件3件が上程され、いずれも原案どおり可決されました。

勤勉手当の引上げ

人事院勧告により、村長等特別職をはじめ、職員や会計年度任用職員の勤勉手当が年間0.1か月分増額されます。

今回、反対討論があり「村民視線、村民感情との乖離が大きい。コロナ後の物価高、観光業支援、会計年度の処遇改善等使うお金が増す中、特別職の手当引上げは見直す、または取り下げのべき。」との意見がありました。賛成討論として「国内情勢全般を見て人事院が判断したもの。給料のベースアップから波及して経済を動かしてほしい。」との意見があり、賛成多数で可決されました。

人事院勧告とは、情勢によって変動する民間企業の収入などに合わせて、公務員の処遇（給与や手当等）を改善するもので、情勢が悪ければ減額、良くなれば増額されます。

固定資産評価審査委員の選任

大和村の固定資産評価審査委員は、定数が3名、任期が3年です。今回は任期満了に伴う改選となりました。 ※いずれも再任

中原 文雄 さん（大和浜）
川下 吉光 さん（大柵）
坂元 龍馬 さん（戸円）

固定資産評価審査委員とは、土地や家屋の評価に対し異議申し立てがある場合、この審査会が開かれ審査されます。村とは独立した中立的・専門的な立場で意見します。

村内で審査会が開かれたことはありませんが、土地・家屋の評価や、固定資産税に関する相談やお問い合わせに対し、職員からの説明でご理解いただいている状況です。



介護手当

別居者へも支給拡充

在宅要介護者を介護している方へ、その苦勞をねぎらい、在宅福祉の増進に繋がってほしいと手当を支給しています。これまで、同居している介護者が対象でしたが、核家族化、生計分離の進行など、同居していなくても日常的に介護を行っている方が増えている現状を踏まえ、別居で介護を行っている方も介護手当が支給できるようにしました。

令和6年第1回定例会（3月議会） 主な内容

第1回定例会は3月5日から3月21日までの日程で開かれ、総額35億6,066万円4千円の令和6年度一般会計・各特別会計予算等を含む予算が16件、条例改正11件、計画変更等3件、同意案件1件の計31件が上程され、いずれも原案どおり可決されました。

大和村監査委員が変わりました

議会選出区分の監査委員が、宮田到議員が辞任したことに伴い、新たに蔵正議員が監査委員に選任されました。

大和村会計年度任用職員に勤勉手当を支給

会計年度任用職員に、新たに勤勉手当が支給されることになりました。議会でも以前から、自立した生活ができる収入を目指し、処遇改善を図るよう意見を述べています。今では、職員組合への加入等、手当や福利が手厚くなってきています。



議選監査委員
蔵 正 議員

**大和村消防団員の手当、改善！
団員が増えることに期待**

避難所に派遣される消防団員は1回につき8千円でしたが、数日間に渡る避難指示等の場合、7時間45分毎に8千円づつ加算されるようになりました（一例）。ここ数年の災害で避難指示等が多発また、長期化することもあり、消防団員の処遇改善が図られています。現在の消防団員は49/52名の登録となっている。定員割れ、または現団員に役場職員も含まれること、平均年齢が高いことなど、議会としても懸念しており、この処遇改善に伴い団員が増えてくれることを期待しています。



大和村介護保険料の現状

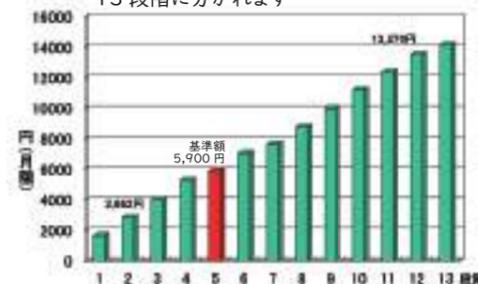
法の改正により保険料が変わりました。一部、増額傾向にありますが、大和村では基金を取り崩しながら大幅な増額を抑え、議員も村内の保険に関する会の委員になり、役場や村民と一緒に話し合いながら、出来るだけ被保険者の負担が軽くなるよう話し合いを行っています。

介護保険料 近隣比較

	基準額
奄美市	6,800 円
大和村	5,900 円
宇検村	6,081 円
瀬戸内町	6,900 円
龍郷町	6,800 円

※ 65歳以上第1号被保険者（令和6～8年）

介護保険料は所得によって13段階に分かれます



令和5年第3回定例会（9月議会） 主な内容

第3回定例会は9月4日から9月22日までの日程で開かれ、一般会計・各特別会計の補正予算や条例改正などの専決処分が2件、補正予算など8件、決算8件、規約変更1件、計画変更1件、諮問1件（人権擁護委員）、条例2件が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

一般会計補正予算
今里教員住宅解体工事に
1千50万円増



築44年になる今里の教員住宅は鉄筋コンクリート造でひび割れ、建物を支える鉄筋の錆び等による安全性も確保できないことから、解体することになりました。跡地については計画的に住宅等の整備を考えている。議会としては、教職員のみならず、役員関係職員も含め満遍なく集落に住んでほしい意向を伝えました。

一般会計補正予算
消防費に827万8千円増

8月に発生した台風6号の影響による、災害対策や防災に関する予算が増額されました。ここには消防団の賃金も含まれます。議会からは、消防団の活動時間が昼夜を問わず長時間に及ぶこと、危険が伴うこと等から、地域を守る消防団員への待遇の改善を求める意見を挙げました。また、避難所の設備や備蓄品等の管理体制や運用についても充実化を図るよう求めました。村としては、自主防災組織の在り方について再度見直しを図りたいとの回答がありました。



簡易水道・集落排事業に
公営企業会計の適用

これまで、村の特別会計で運営していた簡易水道及び集落排水事業が令和6年度から会計方式が変わります。一般会計からの繰入金補助金扱いとし、複式簿記を導入することで、運営の詳細を明確にする事が目的です。

基本的な運用は今までと変わりませんが、事業収入を財源とし、独立採算型の会計に変わります。そこで懸念されるのが、赤字運営となった場合の水道料金の増額改定です。議会としては、村民に無理を強いることなく適切な運用をお願いしました。

大和村は湧き水や地下水がきれいで豊富な地域です。改めて村民一人ひとりが自然の恵みに感謝し「限りある水資源」の適正使用に心がけていきたいものです。



令和4年度決算審査

決算審査特別委員会において、令和4年度大和村一般会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算（7件）の計8件の審査を行い、いずれも認定すべきものと決定いたしました。この結果は、委員長報告及び意見書として、当局に提出いたします。

審査日程

- ・ 9月5日 現地調査
- ・ 9月13、14日 審査

決算審査特別委員会

委員長 前田 清和
副委員長 市田 実孝

現地調査

村道大和浜大榎線補修工事

村内外からの温泉客が見込まれるため、大和まほろば館側の道路が一部改修されました。今後も継続し、順次改修予定です。



湯湾釜分校指定避難所改修工事

避難所指定になっているため、雨戸を取り付けました。また、校庭脇の倉庫を取り壊し、発電機室を作りました。停電の際の自家発電が可能となりました。



名音小学校体育館改修工事

名音小学校の体育館の屋根を張替え、照明のLED化、トイレがバリアフリーになるなど、使いやすくなりました。

水産加工施設（津名久）

加工業者や漁業者以外にも広く一般利用を促したい。





一般会計

消防団員の手当は妥当か

(総務課) 手当については報酬などとは違う考え方であり、団員確保という観点であれば、年報酬などについて考えたい。

アミノクロウサギ研究飼育施設整備事業の商品開発支援業務の成果は

(企画観光課) 村内7事業者、奄美市1事業者、島外2事業者の60品目の商品開発がされており、奄美市住用町の遺産センターで3日間プレ販売会を行った。来場者の意見を商品改良に活かし、施設オープン時のオリジナルグッズとなれば。

大和村集落まるごと体験事業の集落看板とは

(企画観光課) 観光客に各集落を知ってもらうため、道案内の他、集落内の景観地等も案内している。

ハブの捕獲数の推移

(住民税務課) ハブを捕獲する方の大和村への転出入など個人的な関係で令和4年度は捕獲数が令和2・3年度と比べて減少した。

村で出来る温暖化対策とは

(住民税務課) 太陽光や風力などの発電の可能性調査を行った。庁舎屋上に太陽光パネルを設置し補助電源等に利用できないか検討している。

ウッドチップ購入目的は

(産業振興課) 肥料価格が高騰したため土づくりを目的としている。

まほろば水と森公園再整備委託業務で植物を紹介する取り組みができないか

(産業振興課) 公園内の植物を紹介する看板設置を委託することを検討している。

急務!! 名音地区の冠水対策

(建設課) 集落内で冠水が起きた場所を確認しながら対策をしていきたい。

高齢者ポイントアップ助成事業の利用者が限定されてきたと感じられるが

(保健福祉課) 外出・健康づくりが目的の事業で今後アップの併用も考えている。

奨学金の滞納額が増えている現状をどう解決するのか

(教育委員会) 電話連絡や来庁面談を行っている。今後は戸別訪問を行ったり、返済者(子どもか保護者か)なども話し合せて納付を促したい。

公営企業会計適用後の料金徴収や使用料にこれまでとの違いが出てくるのか

(簡易水道事業特別会計)

公営企業法では現在ある出納整理期間がなくなるため、3月までに徴収しないと翌年度への未収金と計上される。料金は改定することも今後予想される。改定の際には丁寧に説明をする。

一人あたりの保険給付費が減少している理由は何か

(国民健康保険特別会計) 医療費については令和4年度はコロナの影響で病院へ行く回数が減ったためと思われる。

特別会計

令和4年度決算審査意見書

1. 令和4年度の補正予算額が6億9千974万7千円と多額であったため最終予算総額が大きく膨らんでいる。当初予算編成時では見積もりができない地方創生臨時交付金やアミノクロウサギ研究飼育施設整備費の増額、また歳入の過大見積を避けることは理解出来るが、歳出の経常的経費など、あらかじめ補正予算が見込まれるものは当初予算時に確保し、今後余裕をもった財政運営に努めていただきたい。
2. 収入未済額対策では担当課の努力に敬意を表すが、収入未済額が増えている奨学金などを含め、今後とも徴収対策に努めていただきたい。
3. 人口減少に少しでも歯止めをかけるため、村営住宅整備を促進してもらう他、併せて住宅周辺の環境整備対策などにも取り組んでもらいたい。
4. 人口減少が進んでいるなか消防団員の確保も厳しくなっていると思われる。しかし近年災害が増えているため、消防団員の役割は非常に大きなものになっている。団員確保のために報酬や手当の増額の検討や女性消防団員を増やす取り組みなど行っていただきたい。
5. 災害時に被災された方々に対する見舞金制度など、他の自治体の取り組みを参考に検討していただきたい。
6. 高齢化社会のなか介護人材の確保は必須である。大和の園の介護職へ夜勤手当の創設など処遇改善を図り、介護人材を確保する方策を検討していただきたい。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出致します。

令和5年9月22日
大和村長 伊集院 幼 殿

大和村議会議長 奥田 忠廣

令和4年度決算審査意見書の提出
令和4年度決算審査の結果、村議会としての意見を集約し、次のとおり議長から提出された。

R6.2.6



南部議員大会

大和村防災センターにて第42回大島本島南部町村議会議員大会・研修会が行われました。南部議会連絡会は、瀬戸内町・宇検村・大和村の3町村から成り、奄美大島の南部地域の振興発展のための活動をしています。大会では、県選出の国会議員と大島郡選出及び3町村出身の県議を迎え、各地域の抱えている課題を伝え、県議から回答をいただきました。大和村の課題は「地方主要道名瀬瀬戸内線の大金久～戸円間トンネルの早期実現について」大和村議会総務建設常任委員長の前田 清和議員が提案理由を述べました。本会から、コロナの影響で取り止めていた懇親会を再開し、3地域の議員をはじめ、国会議員、県議の皆様とも交流が深まりました。国・県・地方が一丸となって課題解決へ向けて、進んでいこうと意識の統一がなされました。大和村からのおもてなしとして、昼食にトン汁を、懇親会にシシ汁を手作りしました。また、スモモやタンカンを使ったお茶菓子などが出されました。懇親会では、重信議員が歌のご披露、地元から、舞踊、フラダンス、島唄（アレンジ）で大会を盛り上げました。

「自然と共生し、
安心して
住みよい村づくり」
を目指して！

活動報告

要望書の提出、研修会、村の行事などを通じて村の礎になれるよう日々活動を続けています。

所管事務調査

熊本県上天草市に行き、地域おこし協力隊の明瀬智博さんに会い、釣り体験やビーチクリーンなどの海の活動の話伺いました。同じ鹿児島県の離島で地域を盛り上げている薩摩川内市甕島の山下賢太さん（東シナ海の小さな島ブランド株式会社）にお会いして、若くして地域に根差した活動をされている熱意と活動内容を教えていただきました。



R5.10.24



元野 吉八郎さん
代表監査委員 全国表彰

大和村の代表監査委員を努める元野 吉八郎さんが、勤続7年を迎え、全国町村監査員委員協議会から表彰されました。



県知事との意見交換会

鹿児島市にて、奄美群島12の市町村議会が集い、県知事に直接要望を伝えました。大和村は、「戸円～大金久間のトンネル開通の早期実現を」の要望を出しました。県道があるとはいえ、台風や大雨の度に土砂崩れが起き、県道が塞がれ、ここ数年は片道通行が続いています。その状況を切に伝え、災害に強い地域を作るため、少しでも早くトンネル開通を目指し計画に盛り込んでほしいと強く要望しました。

R5.10.16



宮田 到議員
議員勤続35年 国から感謝状
東京都で開催された市町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式において、議員勤続35年の感謝状が贈呈されました。村議会議員では、現議長の奥田議員に続き2番目の授与。

R6.1.24



合同金婚式

4年ぶりに合同金婚式が行われました。昭和48年にご結婚された5組のご夫婦がご出席くださいました。村議の中井ご夫妻もその中の1組。半世紀を夫婦ともに健康でいられることはたいへん素晴らしいことです。いつまでも家族が寄り添い健康に過ごされることを願っています。

R5.12.13
大安



中井議員ご夫婦
おめでとうございます



令和5年度第11回 子ども議会

大和村4校の各小学校から議長（名音小6 福原 優衣さん）を含む11名の子ども議員が、地域や学校の整備、災害避難等について提言しました。活動の趣旨は、行政や議会を体験することで、仕組みを理解し、村政への関心を高め、主体性を持ってまちづくりに取り組んでいけるように、とのことです。

写真左から ※敬称略、学年は子ども議会当日
 勝幸盟（名6）、福本秀太（今5）、直島彩音伽（大和6）、福永海斗（今5）、福原優衣（名6）、重村琉音（名6）、永田愛奈（大和6）、郁島沙世（大和6）、上野真宗（名6）、徳雷汰（大和5）、當礁太（名6）

R5.8.15

編集後記

誠に申し訳ございません

議会の広報活動こそが、議会と住民との懸け橋であると申し上げながら、この度、3期分をまとめたの発刊となつてしまいました事、深くお詫び申し上げます。

出来るだけ多くの皆様に少しでも興味を持っていただきたく、事務局と編集委員の方々と研鑽を重ねて、見やすく読みやすい「議会だより」を作ってきたつもりです。そのように感じて下さる読者がいることを願っています。皆様のご指摘やご意見を掲載できれば、さらに内容の濃い広報誌になります。

皆様がこの「議会だより」を手にしていらっしゃるには、令和2年度より4年間関わった編集委員の顔ぶれも変わっていることと思いますが、村民に慕われる広報誌づくりについてしっかりと引き

継いでいきたいと思っておりますので、今後共にご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。4年間ご愛読下さいました皆様方に感謝申し上げます。

編集委員長 藏 正

今まで
 ありがとう
 ございました!

編集委員会

委員長	藏 正
委員	重信 安男
市田 実孝	前田 清和